

研究課題名	COVID-19 パンデミックに伴う社会生活の変化が Metabolic dysfunction-associated fatty liver (MAFLD)の発生や消退に与える影響
研究の意義・目的	本研究では、健診/人間ドックのデータを用い、新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) や、その流行に伴う生活環境の変化、精神的ストレス等が、代謝異常関連脂肪肝 [Metabolic dysfunction-associated fatty liver (MAFLD)]の発生や消退に及ぼす影響について検討を行います。
研究を行う期間	倫理委員会承認後～ 2022年12月
研究協力をお願いしたい方 (対象者)	2018年7月1日～12月31日、2019年7月1日～12月31日、2020年7月1日～12月31日の期間に連続3回大阪市立大学医学部附属病院・先端予防医療部附属クリニック MedCity21において健診/人間ドックを受診した健診受診者対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	過去にご協力いただいた研究 (「がん、生活習慣病、慢性肺疾患、肝臓病、消化器病、婦人科、皮膚疾患などの成人に特徴的な疾患に関する多目的疫学研究 (包括的同意目的)」承認番号 2927) でご提供いただいた下記項目を本研究に使用させていただきます。 ①患者基本情報：年齢、性別、現病名、問診調査 (現病歴、既往歴、家族歴、内服歴、喫煙歴、運動習慣、食事習慣、睡眠習慣等) ②血液検査結果：健診・人間ドック一般血液検査結果 (血算、肝機能、腎機能、糖代謝、脂質代謝、電解質、尿酸、腫瘍マーカー、ホルモン検査、アディポカイン、炎症マーカー、尿検査所見等) ③生理学的検査：身長、体重、BMI、体組成、心電図、呼吸機能検査、認知機能等 ④画像検査結果：腹部エコー検査、腹部 CT (内臓・皮下脂肪面積)、胸部 CT 検査、上部消化管内視鏡および造影検査、マンモグラフィー、乳腺エコー検査、頭部 MRI/MRA 検査等 ⑤機能検査結果：動脈硬化検査 (超音波法による頸動脈内膜中膜複合体肥厚 (IMT)、脈波伝播速度 (PWV)、内皮依存性血管拡張反応 (FMD))、骨代謝関連検査 (DEXA 法による腰椎・大腿骨骨密度)、Fibroscan 装置による定量的肝内脂肪蓄積度 (CAP 値) 等
試料・情報の他機関への提供	特定の個人を識別できない形で、共同研究機関大阪大学 数理・データ科学教育研究センターに頂いた試料・情報を提供します。
この研究を行っている共同研究機関	大阪大学 数理・データ科学教育研究センター 氏名：中村 直俊
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学大学院医学研究科 先端予防医療学 研究責任者：藤井英樹
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪市立大学大学院医学研究科 先端予防医療学 (担当者氏名) 藤井 英樹 電話番号：(06) 6645-2316